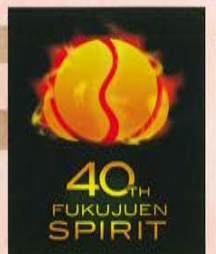


ひまわり

- 2 年頭のごあいさつ
- 4 法人創立40周年特集
記念事業紹介
メッセージいただきました
- 8 連載vol.46●[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 9 各施設トピックス
- 13 福寿園ニュース
- 14 家族会だより
- 16 連載●Newひまわりギャラリー
連載●外国人介護士リレーインタビュー



● 年頭のごあいさつ

旧年中は、格別のご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。昨年、法人は創立40周年の節目の年を迎えました。これまでの多くの皆様方の絶大なご支援・ご協力に感謝申し上げます。そして、これからの新しい時代に向かって福寿園SPIRITを胸に「誰一人取り残さない」福祉事業を推進していく所存であります。

さて、昨年より世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、今もなお先が見えない状況に苦しめられています。私たちはW・T・Hコナナにあつて、新しい価値や既成路線の見直しなど、多くのことを考えさせられました。そして何よりも、人と人との繋がりがやがてこんなにも大切であり、人の温かさを心のワクチンとして処方する効果を覚えました。私たちの仕事は、人が生きていくうえで必要不可欠な仕事（エッセンシャルワーク）であるということに自覚し、「生きることを支える素晴らしい社会的責任に、喜びとやりがいがあると再認識しています。

どんな状況にあつても事業を衰退させることなく、知恵と工夫で前に進めていく姿勢が求められます。40周年を機に、今こそ職員が一丸となつて邁進していきなさいと思います。今後とも皆様方の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、本年がよき年になりますよう祈念申し上げます。



常務理事・総務部長
古田 周作

謹賀新年

謹んで新春の
お慶びを
申し上げます

新年を迎え皆様方にお祝いの言葉を申し上げます。旧年中は弊社法人に對しまして、温かいご協力ご支援を賜り誠に有難うございます。また法人内の各施設が大過なく、新年を迎えることができましたことを感謝申し上げます。

昨年は法人創立40周年の節目の年でありました。40周年の記念事業を種々企画立案して取組みを進める中で、コロナ禍により、40周年記念式典・祝賀会は取り止めましたが、他の事業は予定通り進めることができました。中でも、田原本館特養の建替え増床の整備事業は昨年九月に竣工致しました。また十月には旧本館から百人の入居者の引越しを無事に終え、従来型を個室化間取りに改善した新本館での生活が始まりました。

本年は旧本館の解体を四月から、この関連の養護盲老人ホームの設備機器の移設を二月から始めます。引続いて既設養護の個室化、建物の内装外装等の全面リニューアルを行う予定です。この法人にとって創始の施設は、平屋建て、部屋の外にはベランダがあり、中庭に面し、南向きのこの建物の利を活かし、居室を二人室から



理事長 山田 浩三

個室に改修して、生活空間の改善を図ります。

田原市立田原福祉専門学校は公立の専門学校として、二十四年の実績のもとに多くの福祉人材を育成し、社会に送り出してきました。ご縁があつて同校の経営移管を受けることとなり、昨年より諸準備を進めてきました。学舎の全面リニューアル、学食カフェの開設等の工事の進捗も順調に推移しております。福寿園として、同校の教育理念、教育目標を受け継ぎ、校名は田原福祉グローバル専門学校と改め、本年四月には開校の予定です。

本年は法人創立40周年を経て、次の時代に向かう年になります。法人にとって40周年は通過点、この先50周年、100周年の時も、世の中に必要とされる社会福祉法人を目指して参ります。

本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

令和三年 元旦

2021年 年頭の辞



理事・施設部長
中立 次夫

新年あけましておめでとうございます。旧年中は何かとお世話になり、心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスに明け暮れた1年となりましたが、幸いに1600名ほどの職員も一人だけの感染で乗り切ることができました。このような時勢の中でも、内輪で夏祭り、味覚祭、餅つき等々のご利用者に喜んでもらえる企画を職員が創意工夫をしてくれたことに感謝したいと思います。また40周年行事につきましても、祝賀式典こそ断念したものの、「福寿園ゆめ音頭」の作成を始めとした様々な記念行事につきましても、「いままでをこれから」つなぐ事業として滞りなく実施できました。今春には、公立の養成校として24年の歴史を刻んだ「田福」が愛称をそのままに「田原福祉グローバル専門学校」として私どもへ経営が引き継がれます。丑年は「種子の中で芽がのびている」状態だと言われますが、まさに41年目に向けて一歩を踏み出す象徴的な出来事だと思えます。どうぞ、今後とも皆様方の変わらないご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

40周年のロゴマークを使用したクリアファイルと図書カードを作成しました。
クリアファイルは各関連事務所などに配布しました。



クリアファイルと図書カード



福寿園バッジ

福寿園のシンボルマークをあしらったオリジナルバッジを制作しました。職員が外部の研修や会議等に参加する際に着用し、福寿園職員としての自覚と責任につながります。また外部の方へは、福寿園のブランドイメージのPRにつながることを期待されます。

MOCCO (モッコ)

法人のシンボルマークを型取ったもなかに、様々な味(シヨコラ・抹茶・いちご)の焼きシヨコラを閉じ込めた、和洋折衷の福寿園オリジナル銘菓です。お子様からご年配の方まで幅広くお楽しみいただけるよう、昭和の里「ばん工房小やけ」で一つひとつ丁寧に、まごころを込めて作りました。



テレコム(テレコムチャール)

法人では初めてのテレビCMを制作しました。歴代の笑顔大賞の職員や、実際に入居しているお年寄りにも出演してもらい、完成したての田原福寿園本館と日本家屋が映えるグループホームひまわり邸で、計3日間の撮影を行いました。放送日等の詳細は16ページをご覧ください。

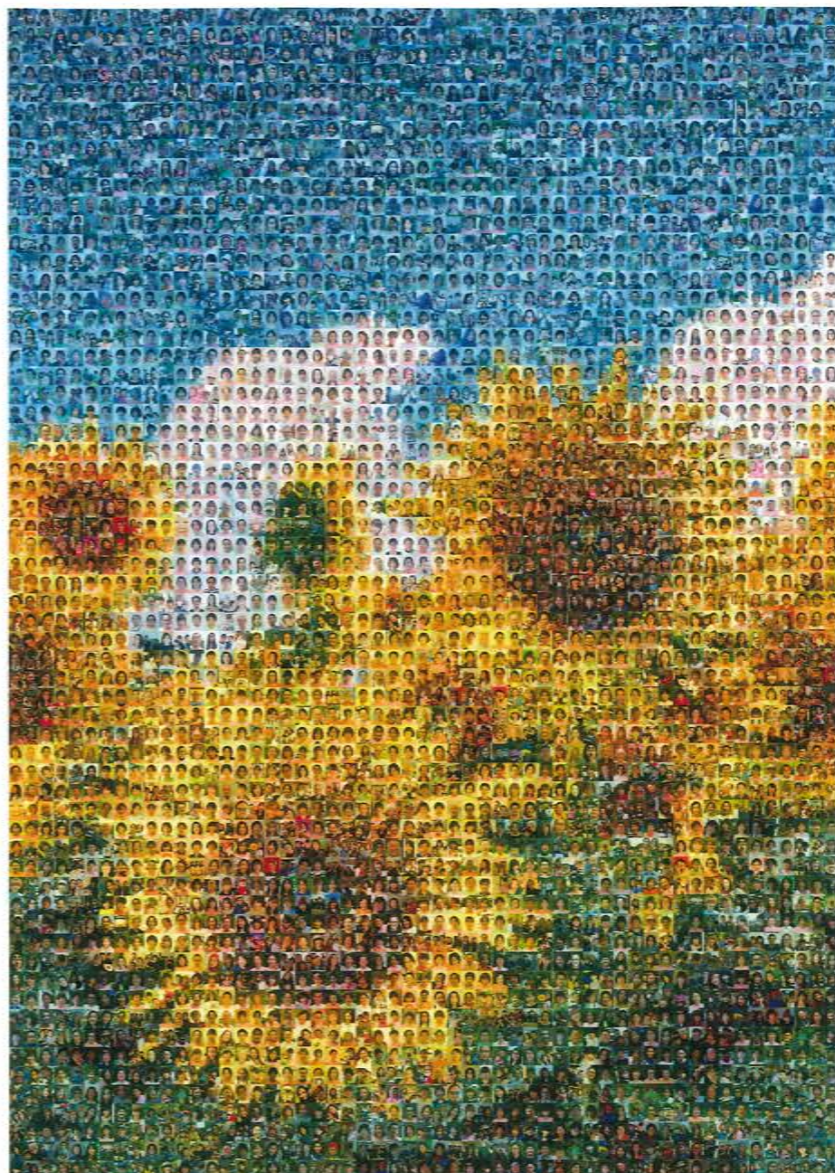


法人創立40周年記念事業紹介

法人創立40周年を迎えるにあたり、準備委員会を設け、様々な企画を実施いたしました。ここにその事業をご紹介させていただきます。

モザイクアート「笑顔で咲く向日葵」

福寿園で働く全職員参加型企画、1,618人のみんなの「笑顔」で作ったモザイクアートです。福寿園の園花である、向日葵の花を咲かせました。ポスターにして各施設に掲示されていますので、ぜひご覧ください。



手ぬぐい

法人から職員と入居者等へのお祝い品として、オリジナルの日本手ぬぐいを2種類制作しました。一つは「福寿園ゆめ音頭」の歌詞をのせて、もう一つは40周年にちなみ、40個の「福」の文字のモチーフを使ってデザインしました。福寿園マークも隠れています。



法人創立40周年を迎えることができましたのも、福寿園をとりまく皆様方のご支援ご協力があったからこそです。福寿園を外部から支えていただいている皆様より、あたたかいメッセージをいただきました。



田原市立
田原福祉専門学校
校長 石川 祐子

冷たい風が蔵王山から吹く季節です。本校は、今年4月の田原福祉グローバル専門学校開校に向けて、校舎内外の改修や学食カフェ建設など着々と工事が進められています。学食カフェは、地域の皆様方にも気軽にお立ち寄りいただき、憩いの場・交流の場としてお役に立ちたいと思っています。変わっていく学校を肌で感じている学生たち。今、2年生は1月末の国家試験に向けて猛勉強中、1年生は授業と実習に備え奮闘中です。「たつぷく」という愛称で親しまれて25年。この歴史と福寿園40年の実績が掛け合わせ、より魅力的な「たつぷく」の新しい風が池ノ原から吹くように励んでいます。



福寿園をはぐくむ会
「未来」
会長 小久保三夫

福寿園のいっそうの隆盛を願う
謹んで新年の寿ぎを申し上げます。



ミンダナオ国際大学
学長
マリヤリ・イネス

創立40周年を迎えられ、山田浩三理事長をはじめ、役員・職員の皆様、おめでとうございます。

福寿園は40年の間に、数多くの社会福祉やサービスを提供することで、すでに確固たる体制を築き、地域社会において強力なパートナーになっていることを知り、非常に感銘を受けました。私たちの誇りと名誉は、MKDの親友としてパートナーとして、2015年以降福寿園と協力し、全ての若くて意欲的なフイリピン人介護士を対象とした1年間の言語と文化のトレーニングプログラムを開始・継続できていることです。それは、相互尊重、友情、互恵、教育と文化交流の促進の精神で、日本で増加する高齢化に対応し、日本とフイリピンの間に架け橋を築く方法として行われています。

今後も福寿園とその役員・職員の皆様が、日本だけでなく世界の他の地域でも、地域や世界の社会福祉・幸福成長・発展にさらに貢献し、より高く飛躍し、社会福祉において、その貢献を永続させることを心から願っております。福寿園との友情とパートナーシップを更に深めることを楽しみにしています。

最後になりますが、これからも福寿園の関係者、スタッフの皆様の成功とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今年には福寿園にとって、40周年の節目であり、また田原福祉グローバル専門学校をスタートアップさせる重要な年でもあります。私たちははぐくむ会も徳性を積み、福祉活動の一助に努めてまいる所存です。

福寿園の「福」には、収穫したものを蓄積し神に捧げるという意味があります。自らの心がけて蓄積した物を他者に捧げる、それこそが幸福だと私は思います。これからも「福」の持つ意味を大切に、創始者・山田都企子さんの思いを継承し、法人経営に取り組んでいただきたいと思います。

今、コロナによる歴史上の大転換点にあります。個々の生への思いをしっかりと持ち、自己研鑽した判断力でこの難局を恐れることなく進もうではありませんか！



●家族会
あゆみの会
顧問 永田 暉

山田都企施設長から老人介護の
神髄を学ぶ
昭和六十二年、同居していた七十代



●田原福寿園囑託医
富永医院
院長 富永 潤

平成20年から囑託医として、入所者の健康管理を担当しております。入所者の皆様と職員との会話、触れ合う様子は、福祉・医療のあるべき姿を教えてくださいました。

私は毎年、敬老の日に廊下の壁に貼られる長寿番付表を楽しみにしています。横綱三役は全て女性で、男性は前頭やつと出てきます。やんぬるかな！日本の現実です。

毎冬、インフルエンザの集団感染予防に苦慮していますが、今年は新型コロナウイルスも参戦し、大変な冬となっています。皆様一丸となって、阻止できますよう頑張りますよ。



●関係事業所
あいふるケア
代表取締役
高橋 芳子

この度は40周年をお迎ええられましたこと、誠にありがとうございます。貴園とのご縁は30年前、盲養護老人ホームで職員としてお世話になって以来です。

「自立介護支援提案シヨップ あいふるケア」を開き、福祉用具を提供させていただく立場になってからも、常に職員の皆様が「利用者様ファースト」の精神で日々、質の高い温かいケアをされている様子を学ばせていただきました。

の母が無断外出と放浪癖がひどくなり、私達家族は、昼も夜も母から目が離せなくなりました。まだ「認知症」という言葉もなく、母にどのように対応すればいいのか分からず、悩みは尽きませんでした。市役所の福祉課に相談に行ったら、近々、豊田市で最初の「特別養護老人ホーム」が開設されると聞き、早急、入所希望を届けました。

福寿園に母と向かうと、玄関で山田施設長が明るい笑顔で迎えて下さいました。その後、入所した母の様子が気になり、毎週、一日は、面会に行きました。その折に施設長から「面会はお母さんへの感謝の気持ちと、優しさを示す貴重な時間です」と教えられました。以後、私の老人観や人生観が大きく変わりました。有難うございました。



●ポラントイア
養護盲 陶芸クラブ
講師 原田 稔

創立40周年を迎えられ、この地域にも老人福祉の大輪が咲き誇らんとしております。まことにありがとうございます。

私が福寿園の陶芸教室と関わりをもつたのは8年前、以来毎月一回、各10名位の皆さんと接してまいりました。大半が視力を失った方々、指先と掌で土に触れる、その感触で形を作る、かつて見た物の形を思い起こしながら、見る術を

私どもあいふるケアも、貴園がこれまで歩まれた道を目指して、自立介護支援のお手伝いをしていきたいという思いを新たにしました。今後とも、さらなる発展を心よりお祈り申し上げます。



●関係業者
株式会社シンプリ
代表取締役
山本 真一

印刷、ホームページで25年間のお付き合いになります。行き始めた頃に驚いたことは、職員方の対応がとても感じが良かったこと、施設内が清潔かつ整理整頓されていることでした。そういう組織風土がベースにある中で、いち早く外国人介護士の受け入れやQC活動を取り入れられました。また、職員にはマンシヨンや託児所、大型テーマパークなどへの無料宿泊など手厚い福利厚生に目を見張るものがあります。

私も会社を経営する者として、つねに「ひとつ上」を目指すという姿勢を取り入れていければと思います。そして、高齢者福祉のトップランナーとして歩んでこられた福寿園にこれからも少しでもお役に立てればと思っております。



二元施設長
林 美恵子

この度は創立40周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。養護盲で勤務させていただいた中で、

失つて形にする難しさ、それ故一生懸命に素焼きをして釉薬をつけて更に本焼きする。でき上がりを手にした時の皆さんの笑顔、本当に素晴らしい。



●入居者
ケアハウスパシフィック
入居者
河合 力

美しい景色
夫婦でパシフィックに来て7年の月日が経ちました。今は花壇の手入れが日課の一つです。ここにくるまでは草花のことはあまり詳しくありませんでしたが、施設でいろんなことにチャレンジしております。

途中で妻を失いましたが、ここには多くの入居者さんと職員さんがおります。施設に咲く紫陽花をはじめ多くの樹木や草花を育てて、皆で美しい景色を守っていきたく思います。

私は庭木の剪定の仕方は詳しいのですが、いくぶん歳を重ねてしまいました。元気な入居者さんや若い職員さんやリハビリを指導したいことがこれからの願いです。若い職員さんが福寿園で多く働いてほしいです。



一元職員
渡辺麻衣子

福寿園には、四十年で培われた信頼があります。地域福祉の中心的役割を担い、いつまでも高齢者、障害者の心の拠り所であって下さい。

創立40周年おめでとうございます。私は、田原福祉専門学校を卒業後、地元で人の役に立つ仕事がしたいと思い、福寿園へ転職し、特養・デイサービス・ケアマネを経験して20年間に多くの人達に出会いました。いろんな方の人生に携わり支援する中で、学び得た知識や経験は、私の財産です。

結婚を機に退職し、辞めてから気づいた事は、目標に向かい努力する事の大切さ、人との繋がりが縁を感じ、やりがいを見出す事のできる福祉の道を選んで本当に良かった。利用者・家族、一緒に働いた仲間達に感謝しています。時代は変化していきますが、これからも地域に根差し、福寿園は地元へ愛される安心できる居場所であってほしいです。



「もう一回選
びに行こうかな？」
と沢山召し上がられ
ました。

ひまわり邸 アフタヌーンティーの会

11月19日にアフタヌーンティーの
会を開催しました。
コロナ禍で外出が難
しい中、少しでも利
用者の皆さんに楽し
んでいただきたいと思います。

思い企画しました。
会場は、まるでホテルのラウンジ
のような装飾で、ソーシャルディ
スタンスを意識しながら、普段と違う
空間で優雅なひと時
を過ごしました。会
場に入ると、「綺麗
だね」と喜ばれ、色
とりどりのケーキや
和菓子、好きなドリ
ンクを思い思いに選
ばれ、お皿いっぱい
のケーキもペロリと
完食。「もう一回選
びに行こうかな？」
と沢山召し上がられ
ました。



この福寿園を利用されている方々
の命を全力でお守りすることが、私
たちの使命だと思っています。

田原福寿園 新！本館防災訓練

本館が新しくなり、早くも二か月
を迎え、日々穏やかな生活が営まれ
ています。そんな中、今一度気を引
き締めて、総合防災訓練が行われま
した。避難経路や火器の場所の確認、
新しい防災設備の操作方法等、しっ
かりメモを取り、真剣に取り組みま
した。災害が無いことが一番良いの
ですが、もし起きてしまったら…。
そんなことを考えると、職員からの
質問が終始絶えませんでした。

ちた福寿園

ユーチューブデビュー！



今年度は新型コロナウイルスの影響
がとて大きく、「福寿園で働きた
い！」と思っただけでいる方に、
満足いく施設案内ができない状態が
続いていました。少しでも施設の様
子や職員の動きを知ってもらいたく
11月9日にユーチューブ撮影を行
いました。今回撮影に参加してくれ
たのは、2年目介護スタッフの二人で
す。新人だった気持ちは誰よりも近
く、先輩になり責任感が出てきた二
人のインタビューも見どころです。
一人でも多くの方に観覧していただ
き、ちた福寿園の魅力を少しでも分
かってもらえたら幸いです。ぜひご
覧ください。

連載 46

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



夫と孫と

大正15年3月15日、岡崎市
細川町にて、14人兄弟の三番
目、父又三郎、母カツの次女と
して生まれました。幼いころか
ら下の弟妹に慕われ、面倒見の
良いお姉さんでした。母親は身
体が弱く、私が小学校六年生の
時に他界、当時は高級品だった
トンボ鉛筆を、弔問に訪れた同
級生たちに配ったことや、戦時
中、B29の渡合の空襲を見て、
「こんなきれいなものがあるの
か」と、近所の友達とずっと
眺めていたことなどを、今でも
覚えています。

そんな私は22歳になると、出しゃ
ばりオヨネの見合い話で、当初初め
て出会った夫の一夫と結婚をしまし
た。ゼロ日婚でした。これには裏の
話があり、私も夫も、お互い違う人
が相手だと思っていて、会ってがっ
かりでした。

昭和30年には肋膜炎に罹患し、一
時体重が激減、余命宣告までされま

した。しかし、ペニシリンをお尻に
毎日注射したことにより復活するこ
とができました。昭和33年には、今
の四郷町に新聞屋を構え、乙部から
引っ越しをしました。早朝の配達
の仕事など、忙しい毎日でした。昭和
41年には、夫の一夫が自宅前の土手
から転落し、頸椎骨折にて脊髄損傷
という大怪我を負いました。それか

ら32年間、夫が亡くなる平成10年ま
で介護を続けました。夫の介護は大
変でしたが、どんな環境でも楽しん
でいました。夫の入院先では、看病
の傍ら職員の子供の子守も行き、時
には相談相手となり、家族のように
仲良くなりました。その後、ご縁の
あった職員さんがよく自宅に遊びに
見えました。

また、もともと旅行が好きで、高
齢になってから海外旅行にもチャレ
ンジしました。万里の長城など、旅
の影響から山崎豊子の「大地の子」
という本がお気に入りです。変など
ころで記憶力の良い私は、子や孫の
交友関係もよく覚えており、家族か
らは八方美人だとも言われます。浪
曲が好きで、通販でセツトを買って
毎日聞いていました。好きな歌は、
なんといっても鳥倉千代子の「この
世の花」です。味噌料理が好物で、
知立の弘法さんの帰りには、必ず道
産子ラーメンに立ち寄り、味噌ラー
メンを食べていました。味噌煮込み



山本 てる
(豊田福寿園)

プロフィール

生年月日…大正15年3月15日
年齢…94歳
出身地…愛知県岡崎市細川町
性格…いつも明るく、
感謝を忘れない

うどんも大好きで、岡崎までよく車
を走らせました。昔から得意なこと
は漬物作りで、かりもりの味噌漬
は天下第一品、みんなが「おいしい」
と言って食べる姿を見るのが大好き
で、たくさん作りました。
福寿園に入所し、一年半が経ちま
した。認知症は神様がくれた宝物。
家族や皆さんに感謝し、楽しく過ご
しています。



家族旅行で厳島神社へ(中央が本人)

ひまわりの街

握りたてを

11月に3回に分けて特養・ショートステイで出張にぎり寿司を開催しました。

コロナの影響でなかなか外出ができない中、寿司屋の衣装に着替えた厨房職員が目の前で注文した寿司を振る舞い、本当



のお店に来たかのような気分です。楽しい時間を過ごしました。イクラや穴子、サーモン、甘えびと種類が豊富で利用者も「どれがいいかな迷っちゃうね」とたくさん注文され「目の前で握ってくれるから何倍もおいしく感じる」と大盛況でした。

豊田福寿園

秋晴れに響く歌声、ゆめ高らかに

11月5日に、秋の味覚祭を開催しました。産地直送の秋刀魚や、豪華な松茸ご飯に舌づつみし、その後は、夏祭りに開催できなかった佐藤朱美さんの歌謡ショーを、コロナの影響もありソーシャルディスタンスを取り、芝生広場



にて開演しました。暖かな陽気に、デザートとお茶を楽しみつつ、佐藤さんの明るい歌声にのせて手拍子、体が自然と動き出しました。みんなで何度も踊りの練習をした「福寿園ゆめ音頭」の歌声にのせて、一緒に踊り、満腹、満足の楽しい秋のひと時となりました。

昭和の里

福寿園オリジナルおせち

今年も昭和の里では、福寿園で開設時より変わらず守り続けている伝統のおせちを、デイサービスご利用者やマンション「福寿」入居者、東三河地区職員へ販売しました。一般的なホテルやデパート等の商品は、日持ちする練り製品主体のものが多いですが、昭和の里のおせちは昔ながらの煮しめ等を多く取り入れた、家庭的な真心のこもった手作りのおせちとなっています。



くすのきの里デイサービス

第一会 デイサービスセンター文化祭

11月16日〜20日の5日間わたり、くすのきの里デイサービスセンター第一会 くすのき文化祭

にて文化祭を行いました。第一会の「会」の理由は、ご利用者からの提案で「次回の第二会文化祭開催時に皆さんと元気に会えるように」と願いを込めて決めました。新たな試みでしたが、展示コーナーにはご利用者の得意分野を主に、塗り絵や習字、編み物に陶芸品等、また現役時代に大工の棟梁をしていた時の設計図や、囲碁大会の表彰状などの作品を展示しました。発表の時間では、カラオケや踊りが披露されました。職員もダンスや合いの手を挟みながら盛り上がり、笑顔があふれていました。



田原ゆの里

書道教室

毎月、第1・第3の水曜日に行われている書道教室、12月の先生のお手本は、「師走」と「冬空」でした。書道が得意な入居者の指導の下、気が入り、座ったままでは書けないと、立ち上がり、座ったままでは書けない紙に向かっておられました。筆の持ち方も教えてもらい、自然と背筋がピンと伸びていました。完成した一人ひとりの習字に、先生から朱色で直しを入れてもらったり、優秀といった誉め言葉を書いてもらったりしていました。自分の字を見つめ、お互いに見せ合うなど、とても盛り上がりがありました。



ケアハウスきぬうら

花餅をつくらう!



お部屋の中で明るいお正月気分を味わえるようにと、花餅づくりを企画しました。皆さん初めての経験で、悪戦苦闘しながら仕上げていきましたが、それぞれの個性が光る花餅ができあがりました。中には、テレビ放送を見て作り方を予習されている方もみえ、参加した職員も入居者の方に教わりながら、一緒に花餅づくりを楽しみました。完成後も数日にわたって、「楽しかった」「綺麗に飾れたよ」といった好評の声をいただきました。かわいい花餅に囲まれながら、素敵なお正月を迎えられました。

武豊福寿園

お抹茶と和菓子、着物をそえて

今年もコロナの影響で家族と交流を行うイベントが中止となりました。今回入居者に喜んでもらえるよう半田市で有名な和菓子屋の練り菓子を中心に10種類用意し、好きな和菓子を選んでいただく方法で「お抹茶会」を行いました。目で楽しみ、舌で楽しむ企画になり入居者の笑顔も見られ大成功を実感しました。また、雰囲気を感じても出せるようEPA外国人介護士を含め4名の職員が着



物を着ました。EPA職員にとっても着物やお抹茶は初めてで、ドキドキワクワクの体験になりました。

養護者福寿園

掘り出せ! 秋の味覚

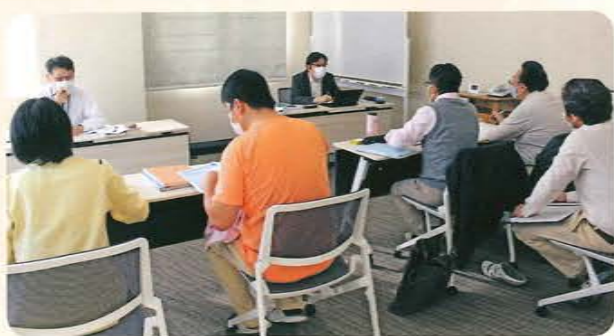
11月のある日、以前福寿園を利用していただいていたご家族から、所有される畑での芋掘りのお誘いがありました。有難くご好意を受け、楽しみに踊る気持ちを胸に出掛けました。

皆さんの期待と興奮が通じたのか、暖かな陽光と、突き抜けるような青空の絶好の芋掘り日和でした。



た。農業に携わっていた方は、慣れた手つきで作業を行い、その鮮やかさに職員も感心しました。芋を掘りながら、モグラの穴を発見したり、蔓まで食べていた頃を話したりされました。大地の恵みを育む生きた土に触れ、皆さんも童心に帰れ、採れたたくさんの大きい芋にも負けない笑顔で溢れました。いただいた芋は、後日皆さんで焼き芋にして食べ、ホクホクの甘いお芋にまた笑顔がこぼれました。

ISO再認証、拡張審査



今回の審査は3年に一度の再認証審査、ちた福寿園の拡張審査ということで、12月1日から4日の4日間で行われました。審査所見にて内部監査の仕組みや、福寿園の中長期経営計画に評価をいただき、無事再認証と新規の認証を受けることができました。改善が必要な指摘事項もありましたが、法人全体で真摯に受け止め、継続的な改善に努めていき、福寿園に関わる全ての人に満足を感じてもらえるよう、サービスの質の向上に努めていきます。

また福寿園は引き続き環境への取り組みを社会的責務と認識し、ISOの活動の中で取り組んでいきたいと思っております。

「福祉の絵手紙カレンダー」作成

福寿園では、今年も「福祉の絵手紙カレンダー」を作成しました。皆さんより、福祉の心のこもった素晴らしい作品をご応募いただき、その中から選ばれた、第17回「福祉の絵手紙」入選作品が掲載されています。

また、今年も「福祉の絵手紙」を募集いたします。皆さんからのたくさんの応募をお待ちしています。(次回「福祉の絵手紙」作品募集の詳細につきましては、7月頃に機関紙またはホームページでご案内します。)



パート基礎研修

11月下旬に各地区において、令和2年度2回目の新任パート職員の研修会が開催されました。法人の理念や歴史、職場のルールと心構え等、1日を通し勉強しました。質問をすると積極的に回答され、皆さん真剣な表情で講義を受講されていました。「ご利用者の気持ちに寄り添い、安心して過ごせる場所を一緒に作っていきたい」「愛と感謝と奉仕をいつも心にとめて仕事をしたい」等、前向きな意見を聞くことができました。優しく、あたたかく、真心の介護に取り組んでいきます。



福寿園創立40周年・福寿園を はぐくむ会「未来」20周年記念事業

今年度は福寿園創立40周年ならびに福寿園をはぐくむ会「未来」設立20周年記念の節目の年となります。それを記念し、毎年「福祉の心」絵手紙に作品を応募していただいている各小学校に、福祉教育用品、図書等の寄贈を行いました。

福祉教育の充実に役立てていただこうと、オンラインやICTで活用できる可動式大型モニター、介護体験で使用できる車椅子やケアスロープ、福祉関係図書等を寄贈しました。

この寄贈をきっかけに、小学生の福祉教育に寄与するとともに、福寿園、はぐくむ会と各小学校との結びつきを深められたらと思います。



みなみ福寿園
みなみ大好き寿司バイキング!
ご利用者に「好きな食べ物は何ですか?」「今度何が食べたいですか?」と聞くと「お寿司!」と答える方がたくさんみえます。みなさんお寿司が大好きです。みなみ福寿園では11月20日に寿司バイキングを行いました。いつもは刻み食の方も、



お寿司ならそのままの形(普通食)で食べられるのでびっくりです。お寿司をほおばる顔は笑顔がいっぱい。次から次へと食が進みます。やわらか食の方にも楽しんでもらおうと、厨房職員がやわらか食のメニューも豊富に作りました。どんな食事形態の方にも、寿司バイキングを楽しんでもらえたと思います。

ケアハウスバシフィック
今が旬「さつまいも」の手作りおやつ
秋の味覚祭で提供した石焼芋が好評だったので、11月の手作りおやつは、ジャガイモで作るのが一般的な「芋餅」をさつまいもで作ることにしました。茹でたさつまいもをマッシュして潰し、味を調べ、丸めてホットプレートで焼きました。力加減が分からずマッシュャーが壊れてしまったり、熱すぎて丸めるタイミングが難しかったりと、様々なハプニングもありましたが、さつまいもの匂いがホールに充満し、美味しいおやつができあがりしました。「具合にできるね」と感心する方や、昔を思い出し「小



花の里
皆さんが毎回楽しみにされている「居酒屋」の行事では、併設しているレストランなのはなを夕方より貸し切り、入居者や利用者の皆さんと職員が和気あいあいとおつまみとお酒等の飲み物を楽しんでいました。

年に2回行われるこの居酒屋も、今年は密を避けるために、お昼にそれぞれのユニットフロアで「居酒屋バイキング」として開催しました。

1回目は夏の時期に、2回目の今回は初冬ということで、温まる冬のおつまみをご用意しました。おでんやとて煮、揚げ出し豆腐にカキフライなど、この時期ならではのメニューに、皆さんお酒と食が進んでいました。特に「このおでんの大根は、味が良く染みていて美味いね!」との声が多く聞かれ、とても好評でした。



東海福寿園 インスタライブ「施設ってナンダ?」

11月11日介護の日に、昨年に引き続き、「介護ってナンダ?」企画の第2弾として、「施設ってナンダ?」インスタライブで施設の裏側全部見せます!を行いました。東海福寿園職員の凸凹コンビリポーターが、普段はなかなかお見せすることのない施設の裏側、地下室や職員の宿直部屋などの施設紹介中心の昼の部の、主に職員を中心に紹介した夜の部の2回に分けて、生配信を行いました。思いのほか沢山の方に見ていただき、「作られた感じではなく、リアルな



部分が良かった」「施設が綺麗」「職員さんたちが楽しそう」などの声をいただきました。より明るく、そして、私たちの施設をもっと知ってもらいたいという思いを形にして伝えていきたいです。



田原福寿園 家族会会長
河合 保寿

新年明けましておめでとうございます。家族会並びに職員の皆様におかれましては、健康に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月に新たに本館が完成し、入居者が安心して生活できる環境を整えて頂きました。職員の皆様におかれましては、準備から引越、その後の諸問題にも追われ、重なる苦勞を続けられておりました。代表して深く御礼申し上げます。また、福寿園創設40周年を迎えられ、家族会からも記念時計を寄贈させて頂きました。今後も施設の運営に協力すべく、家族会皆様のご理解を承りたく存じます。感染症の心配は尽きませんが、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



田原ゆの里 家族会会長
鈴木 幾雄

新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は家族会運営にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

この一年、私たちは戦後経験をすることのなかった不自由で、重苦しい環境の中で生活することになりました。旅行や

家族会だより

家族会会長 年頭のごあいさつ

家族会の皆様、職員の皆様におかれましては、健康に新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事への参加中止やロビーでの面会制限などご理解、ご協力ありがとうございました。このような状況がいつまで続くかわかりませんが、少しでも早く終息することを願い、家族会としても日々尽力をいただいている職員の力になれたらと考えております。また入居者の皆さまに少しでも楽しんでいただける企画をし、実施してくれた職員の方々に感謝申し上げます。



ひまわり邸 家族会会長
金澤 康弘

新しいコロナ禍の真っ只中、新しい年が明けました。家族会の皆様におかれましては、健康に最大限留意され新年をお迎えのことと存じます。

昨年は次元の異なる生活スタイルで、自分・家族を守ることに専念されたと思えます。その中で入居者の方々も制約を受けましたが、スタッフの皆様のご努力と細やかな工夫で四季折々の催し物、誕生日会等を開催して頂き、有意義な時を過ごされたと思います。

会食をすることができた、これまでの自由な暮らしができなくなり、そんな普通の暮らしの大切さを誰もが感じたことと思います。新型コロナウイルスの終息が、いつになるかは分かりませんが、現在先進国でワクチンの開発が進み、すでに投与が始まっています。終息まで「コロナに感染しない、させない」努力を油断することなく、続けていきたいと思います。

こんな状況の中、施設職員の皆様のご苦勞は大変だったろうと想像できます。家族会の参加はできませんでしたが、施設内では入居者さんを楽しませるための行事が、色々行われていました。しばらくは、施設運営も難しい状況が続きますが、入居者の皆さんをどうぞよろしくお祈り致します。



渥美福寿園 家族会会長
古橋 照夫

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春を健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家族会活動が中止になってしまいました。施設の職員の皆様には、新型コロナウイルスの感染が大変な中、しっかりとした感染予防対策をし、生活をしていくお年寄りの介護をしてくれていることにも感謝しております。

今年もまだ、新型コロナウイルスの感染が落ち着かない中、家族会と致しましても、何らかの形で施設の運営に少しだけでも、お祈りいたします。



武豊福寿園 家族会会長
福島 勤

新年あけましておめでとうございます。ご入所者の皆様、家族会の皆様、職員皆様におかれまして、今年も良き年でありませう、心よりお祈り申し上げます。

昨年の家族会の活動におかれましては、コロナ禍の中、例年のような活動ができませんな思いました。例年ならグループ合同交流会・納涼大会・敬老祝賀会・忘年会・餅つき大会など、ご利用者やご家族がたいへん喜び催しを企画していただきました。感染症の対策からご家族不参加で開催したことをご理解していただきますようよろしくお願いいたします。

も力になれたらと考えておりますので、会員の皆様方にも引き続きご協力をお願い致します。



花の里 家族会会長
本田 雅彦

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中いろいろな行事が中止になり、家族との面会にも制限が加えられるなど我慢の一年だったと思います。しかも県内外で介護施設でのクラスターが発生したため、職員の皆様にも心労が絶えなかったことと思います。感染防止にご尽力いただいたことを、家族会を代表して心より感謝申し上げます。



豊田福寿園 家族会会長
飯田 正典

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



くすのきの里 家族親睦会 世話人代表
井上 和雄

新年あけましておめでとうございます。家族会の皆様、入居者の皆様、くすのきの里の職員の皆様、良き新年をお迎えのことと申し上げます。昨年は年明け早々より新型コロナウイルスの影響で年末まで第二波、第三波と感染が拡大し、心の休まる時がなく、毎年の楽しい企画での行事も行うことができません、入居者の皆様もご家族の皆様もとても残念であったと思えます。しかし、くすのきの里の職員の皆様のご努力で感染者を出さずともなく、家族との面会も色々工夫して頂き、直接に面会させて頂くことができ、新しい年を迎えられたことは本当に有難く心より感謝申し上げます。



東海福寿園 家族親睦会 世話人代表
井出 勝美

新年あけましておめでとうございます。入居者の皆様、家族親睦会、職員の皆様には良き新年をお迎えでき、今年も健康

の多大なるご協力により、一人の感染者も出さずことなく無事過ごすことができましたこと、心より感謝申し上げます。



みなみ福寿園 家族会会長
上田 博幸

新年明けましておめでとうございます。家族会の皆様、入所されている皆様も健やかに新春を迎えられ、お慶び申し上げます。また、日頃は職員の皆様がいつも明るく声を掛けて下さり、入所者や家族が安心して過ごせるのも温かい介護のおかげと深く感謝しております。昨年は家族会で計画した活動は新型コロナウイルスの拡大防止のため全て中止となり、残念でなりません。現在、コロナウイルスはまだ沈静化していませんが、今年こそは入所者、家族会ならびに職員の皆様が家族愛の絆を持ち、すばらしい一年になることを祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。



ひまわりの街 家族会会長
内藤 光夫

新年あけましておめでとうございます。で良き年になります様に、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、東海福寿園職員様による入居者の皆様への感染防止対策への対応に感謝申し上げます。

家族親睦会の家族参加の年間行事はコロナ禍のためすべて中止となりましたが、職員様と入居者様との花見、夏まつり、もちつきができたことは職員様、関係者様に心より御礼申し上げます。

今年も皆々様のご協力を得て笑顔を見せずに東海福寿園家族親睦会を盛り上げていきたいと思います。

今年も皆様健康で良い年になりますように祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。



ちた福寿園 家族会会長
阿知波 満

新年あけましておめでとうございます。入所者の皆様、家族会の皆様、並びにちた福寿園の皆様には穏やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年より続く新型コロナウイルスの影響により、皆様が大変な状況に置かれていた家族会関連行事や親睦会等もことごとく中止となり、家族会代表として、また入所者の家族の一員として大変心苦しい限りでございます。その中であって、施設長はじめ職員の皆様には、全入所者の日々の健康管理に全力を傾注され、健やかに過ごすことができていることに深く感謝を申し上げます。今年も皆様と力を合わせて家族会を盛り上げていきたいと思います。

最後に皆様のご多幸とご健勝を祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。

テレビCMの放映について



40周年記念事業の一環で制作したCM（コマーシャル）が、年始より放映されました。また、1月13日から6月までの間、下記番組中に放映されますのでご案内いたします。

毎週水曜日 9:50~11:15
『スイッチ!』（東海テレビ）

福寿園 YouTube 福寿園 ちゃんねる

施設紹介動画が次々アップ中!!

ちゃんねる登録も
よろしくね!



福寿園では、現在71名(フィリピン人 63名、ベトナム人 7名、インドネシア人 1名)の外国人介護士が各施設に分かれて働いています。毎号一人ずつ紹介します。

連載 外国人介護士 リレーインタビュー

- Q 日本に行こうと思いだめたのはいつですか?
- A 24歳の時に先生をしていて介護の事を教えていて、生徒にEPA制度を進めてもらいチャレンジしようと思いました。
- Q 日本とフィリピンで生活環境の違いはありますか?
- A たくさんあります。「おつかれさま」をフィリピンでは使わず、日本ではしっかり使う事。最初は慣れるのに大変でしたが、今では使っています。
- Q 日本に来て一番心に残る思い出は何ですか?
- A 友達と三重県のなばなの里に出掛けた時に、帰りのバスに間に合わなくて、慌てて乗った新幹線が名古屋で止まらず、帰りが真夜中になってしまった事です。苦い思い出です。
- Q 日本の食べ物で好きなものは何ですか?
- A 天ぷら、うどん、とろろそばを食べた時はびっくりするほど美味しかったです。
- Q 休みの日は何をしていますか?
- A 植物を植えたりして育てています。植物を見ていると心がリフレッシュします。
- Q 今一番強く願う事はなんですか?
- A 今年が受験なので、受けるみんなと介護福祉士に合格する事です。



アバオ メリー アンデラ クルス
ニックネーム
メリー
渥美福寿園
国籍:フィリピン



New ひまわり ギョウリ

入居者・利用者さんの作品を
ご紹介いたします。

作品 **干支**

田原福寿園デイサービス利用者の皆さん

小さな紙をたくさん丸めて、今年の干支(丑)を制作しました。



令和3年1月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

■理事長/山田浩三 <https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。